

ボランティア活動グループ訪問記

ボラんていあ

生活介護事業所 七宝

モーターは「自分らごとく」



桜の花もすっかり散りやわらかな淡緑色の葉を付け始めた頃の4月20日(水) 特定非営利活動法人ほっと(以後「ほっと」と記載) 七宝さんへお邪魔しました。当日はお忙しいなか所長の 柳谷守さんにお話を伺いました。

【七宝さんについて】

七宝は平成2年に父母会が運営する地域作業所としてスタートしました。その後法律の改正などにより地域活動支援センターへ移行。平成24年に生活介護事業所として現在に至ります。

今まで使用していた建物は築年数が経って耐震性の心配もあり、大家さんに相談して新しく裏の敷地に建てていただきました。まだ引越して一年半ぐらいです。

利用者さんは、男性だけで12名、以前は女性もいましたが、ステップアップだったり、高齢の為に他の施設へ移ったりで男性だけになりました。

【1日の流れは】

9時通所。朝の会・体操。9時15分から作業開始



所長の柳谷守さん



12時昼食・休憩。13時作業再開。15時掃除・帰りの会。15時40分帰宅。近くに道保川公園、横山公園があり、状況を見て散歩に出掛けたりもします。散歩時は近所の方々が声をかけてくれたり、温かく見守ってくれます。地域ともほっとな関係ができていますね。

【作業内容】

ダンボール組立、ピースアクセサリ、花たわし作りです。ダンボール組立は、ダンボールの仕切りを作る作業で仕切りは大小いろいろ。抜取、組立、納品の作業になります。抜取作業はダンボール板についている抜取線にそって抜いていきます。力が要りそうです。「若いから力があります」と元氣良く答える人もいて頼もしいですね。みんなそれぞれのペースで取り組んでいて、自分でノルマを決めて行う人も。ガシッガシッと組み立ててまあ早い早い。あっという間に出来上がります。長い人で25年以上のベテランさんも。納品は1日1回、利用者さんも一緒に行くそうです。この仕事を頂いている会社とは、開所時からのおつきあいで30年位になるそうです。お世話になり、ありがとうございます。



バオバブで販売しているピースアクセサリと花たわし

と、柳谷さんの感謝の言葉。ほかにも当日製作中の見学はできませんでしたが、ピースアクセサリと花たわしの製作です。ピースは糸を通す順番に並べて通していく。花たわしはネットの様な長方形の布を数枚重ねて中心で結び。どちらか緩まないようにきつく作りませす。自分よりも上手に作業をいっしょに利用者さんのお話を柳谷さんは嬉しそうに話していただきました。花たわしは洗剤を使わなくても白所やお風呂洗い

に使用できるそうです。エロいですね。どちらかあじさい会館のバオバブにて販売しています。是非のぞいてみてください。

【コロナ禍での活動について】

大好きで楽しみにしている外食やカラオケ、一泊旅行など、なかなか出来なくて我慢してもらっている状態です。残念ですね。

支援に当たっては出来ない事よりも好きな事得意な事を、見つけ伸ばして、それが出来ないのではなくこれならできると、折衷案を見つけながら「七宝」の自分らしくをモーターに明々く楽しんでやっていますと話して下さいました。「ほっと」には七宝を含め、4つの事業所があり、いずれも相模原市中央区で活動しているそうです。(植野 小山)

* 特定非営利活動法人ほっと 七宝

所長 柳谷 守

TEL 042-757-2124

TEL 042-757-2124



慣れた手つきでダンボール箱の組立作業



新しくなった七宝の外観